

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

長野県

行事名称	善光寺本堂消防演習
実施期間・日時	令和2年1月26日(日) 午前9時30分から午前10時40分まで
実施場所	善光寺本堂周辺
主催者	長野市消防局、長野市消防団、善行寺事務局

■実施内容

訓練の想定

長野県北部を震源とする最大深度7の地震が発生し、案内所から出火、飛び火により善光寺本堂へも延焼危険があるもの。

訓練の内容

(1) 消防体験

- ア 消火器取扱い訓練
- イ 煙体験
- ウ 火災予防広報(広報物配布)

(2) 消防局訓練

ア 善光寺、消防団、自主防災訓練

- (ア) 善行寺自衛消防隊による情報収集訓練、本部設営訓練、119番通報訓練
- (イ) 自主防災会による初期消火訓練
- (ウ) 善行寺自衛消防隊による外国人観光客等避難誘導訓練
- (エ) 外国人観光客等対応訓練
- (オ) 重要物品搬出訓練
- (カ) 防火設備(ドレンチャー設備)取扱い訓練
- (キ) 一斉放水訓練

イ 消防局

- (ア) 現地指揮本部設置訓練
- (イ) 救出訓練
- (ウ) 一斉放水訓練

参加者及び役割分担

- (1) 消防局(43名) 情報収集、本部設営、救出、一斉放水
- (2) 消防団(27名) 本部設営、警戒区域設定、一斉放水
- (3) 善行寺(40名) 通報、情報収集、本部設営、初期消火、避難誘導、外国人観光客等対応、重要物品搬出、傷病者搬送、防火設備取扱い、一斉放水
- (4) 自主防災会(12名) 初期消火、避難誘導

特に工夫した点

令和元年10月に首里城の火災が発生し全焼に至ったことから、消防用設備等による初期消火の重要性を確認するために、訓練の中でドレンチャー設備の作動、屋外消火栓による放水を行った。

問題点・課題

現在善行寺では、外国人観光客等の対応について、外国語記載のプラカードを活用し避難誘導を行っているが、「メガホン型翻訳機」による避難誘導、外国人観光客対応所において情報収集のために活用する「個人カルテ」を導入していない。令和3年に控えた善光寺御開帳では、外国人観光客の来訪が多数見込まれることから、「メガホン型翻訳機」、「個人カルテ」等の導入を検討しなければならない。

その他

訓練風景

